

【中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅳ】

第 1 問（配点 25 点）

（設問 1）

	(a)	(b)
① 売上高総利益率		12.70 ( % )
② 負債比率		573.47 ( % )
③ 棚卸資産回転率		22.95 ( 回 )

（設問 2）

売	上	規	模	は	大	き	い	が	、	価	格	と	コ	ス	ト	が	適	正	で
は	な	い	た	め	収	益	性	が	低	く	、	借	入	依	存	度	が	高	い。

第 2 問（配点 18 点）

（設問 1）

（単位：百万円）

売上高	( 3,879 )
売上原価	( 3,310 )
売上総利益	( 569 )
販売費及び一般管理費	( 270 )
営業利益	( 299 )

（設問 2）

△244（百万円）
-----------

（設問 3）

再来年度以降の 予想営業利益	250（百万円）
最低売電単価	27（円/KWh）

第3問 (配点 29 点)

(設問 1)

第X1年度末における差額キャッシュフローの計算		各年度の差額キャッシュフロー	
項目	金額		金額
税引前利益の差額	( △20 )	第X1年度初め	( △210 )
税金支出の差額	( △6 )	第X1年度末	( 76 )
税引後利益の差額	( △14 )	第X2年度末	( 58 )
非現金支出項目の差額	( 90 )	第X3年度末	( 58 )
第X1年度末の差額キャッシュフロー	( 76 )	第X4年度末	( 58 )
		第X5年度末	( 58 )

注 金額欄については次のとおり。

1. 単位は百万円。
2. マイナスの場合は△を付すこと。

(設問 2)

	【指標の名称】	【数値 (単位)】
安全性	割引回収期間	3.93 ( 年 )
収益性	正味現在価値	44.63 ( 百万円 )

【収益性の観点から】

この案の採否について (いずれかに○を付ける)	<input checked="" type="radio"/> 採用する <input type="radio"/> 採用しない
----------------------------	---

第4問 (配点 28 点)

(設問 1)

D社に帰属する子会社利益64百万円を除くと、
当期純損失である。

(設問 2)

完全連結となるため、借入金負担が増加し、
安全性が低下する。

(設問 3)

影響から支配へと関係が移行することにより、
意思決定に対する機動性が高まる一方で、よ
り厳格な内部統制が求められるようになる。